



くわがた通信



VOL. 81
2020.02

手稲区 富丘西宮の沢まちづくりセンター

〒006-0012 札幌市手稲区富丘2条2丁目1-1 (Tel. 685-4745 Fax. 685-0376)

～冬を楽しく～ 「冬のふれあいまつり2020」開催

主催は富丘西宮の沢まちづくり協議会。冬にも子どもたちの心に残るようなイベントを設けて、ふるさとへの愛着を深めてもらいたいと、地元の各団体や企業の協力を得て、毎年2つのイベント「とみおか雪中あそび」および「アイスクャンドル大作戦 in 西宮の沢」からなる「冬のふれあいまつり」を開催しています。



第11回とみおか雪中あそび

1月25日、富丘つくし幼稚園で「第11回とみおか雪中あそび」が開催されました。

当日は、同地区に住む子どもやその保護者400人が参加し、元気いっぱい体を動かしながら冬の遊びを楽しみました。参加者は、箸に見立てた大きな竹竿を使いながら段ボールを移動させてリレー方式で順位を競う「大きすぎるはし」や、大人も参加できる「パン喰い競争」など5つの遊びに挑戦。会場では「頑張れ!」「ファイト!」などと子どもたちの大きな声援が飛び交い、寒さを感じさせないほどの熱気で溢れていました。



第16回アイスクャンドル大作戦 IN 西宮の沢

1月31日と2月1日、西宮の沢児童会館で「第16回アイスクャンドル大作戦 in 西宮の沢」が開催されました。1月31日の点灯式では、地域住民や関係団体らが製作したアイスクャンドルに一齐に火がともされると、会場が幻想的な明かりで包まれ、あちこちから「きれい」と歓声が上がりました。ステージでは、アイスクャンドル優秀作品の表彰式なども行われました。また、会場内の「雪中パークゴルフ」や雪で作られた「滑り台」を元気いっぱいに楽しむ子どもたちの姿も見られ、地域住民らは冬の恒例イベントを大いに満喫していました。



～連携を大切に～

町内会と民生委員・児童委員との懇談会

12月10日、富丘西宮の沢連合町内会連絡協議会の主催により、富丘西宮の沢地区の町内会役員と民生委員・児童委員との懇談会が開催されました。

この懇談会は、町内会と民生委員・児童委員が連携して、見守り活動を充実させていくことを目的として開催しており、会場の富丘西宮の沢会館には、各町内会・自治会の会長や民生委員・児童委員、福祉関係団体、手稲区保健福祉部、第1地域包括支援センターの職員など約70人が集まりました。

懇談会では、参加者が町内会・自治会で現在取り組んでいる活動、工夫していることや困っていること、町内会と民生委員・児童委員との連携事例などを紹介しながら意見交換。見守り活動の充実に向けた熱心な話し合いが行われました。



～認知症サポーター養成講座～

富丘西宮の沢連合町内会 連絡協議会女性部長研修会

11月1日、富丘西宮の沢連合町内会連絡協議会の主催により、富丘連合町内会及び西宮の沢連合町内会の各単位町内会・自治会の女性部長などを対象とした研修会が開催されました。

当日は、会場の富丘西宮の沢会館に約30人が集まり、手稲区保健福祉部の保健師の佐藤純子さん、手稲区第1地域包括支援センターの保健師の深見業太さん、手稲区介護予防センターの伊藤誠也さんに講師を務めていただきました。

このなかで、講師は「認知症は、特別な病気ではなく、誰でもなる可能性があります。その方を支えるためには周囲の方の良い対応が大切であり、そのためにも、まずは認知症への正しい理解が大切です。困った場合は、まずは専門家に相談を」などと説明。参加者からは、認知症に関する対応や相談先などの質問があり、講師からアドバイスを受けていました。

～高齢者のふれあい交流の場～

福まちサロン「とみにし」

1月10日、富丘西宮の沢地区福祉のまち推進センター（福まち）が主催する福まちサロン「とみにし」が開催されました。

当日の主な催しは「お楽しみ会」。会場となった富丘西宮の沢会館には、お年寄りなど約30人が集まりました。

会場では、参加者がいくつかのグループに分かれて、百人一首・トランプ・カルタ・花札などのゲームを開始。

百人一首のグループでは、久しぶりに百人一首をする参加者が多く、似た札を誤ってお手付きしてしまって笑いあうなど、楽しい雰囲気にならぬがら札を取り合っていました。



さっぽろ市
02-001-19-853
31-2-660